

令和 2 年度

仙台市下水道事業会計決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 決算雨水汚水内訳表
- 5 建設改良事業の概要

仙台市建設局

1 決算の概況

令和2年度の下水道事業は、耐震性の向上や長寿命化の取り組み、浸水対策など防災機能の強化を図るとともに、施設の適切な維持管理に努めてまいりました。

事業実績につきましては、処理区域内人口は前年度比2,114人増の1,060,175人となり、人口普及率は前年度と同率の99.7%となりました。また、水洗化人口は前年度比1,743人増の1,056,814人となり、汚水処理戸数（水洗化戸数）は前年度比6,791戸増の521,946戸となりました。年間総処理水量は前年度比93万立方メートル増の1億4,912万立方メートルとなり、年間有収水量は前年度比113万立方メートル増の1億1,160万立方メートルとなりました。

経営面につきましては、「仙台市下水道マスタープラン」の後期の実施計画として、今後5年間の達成すべき目標や具体的な取り組みを定めた「仙台市下水道事業中期経営計画（令和3年度～令和7年度）」を策定しました。

建設改良事業につきましては、総額112億5千万円の建設改良費を執行しました。

災害復旧事業としては、令和元年東日本台風により被害を受けた下水道施設の復旧を進めました。

地震対策としては、第3南蒲生幹線工事や、梅田川幹線等の合流管耐震化工事（更生工法）等を実施しました。また、浸水対策として、仙台駅西口地区浸水被害軽減対策のための広瀬川第3雨水幹線工事を実施するとともに、西原雨水ポンプ場のポンプ増設に係る実施設計に着手しました。

このほか、合流式下水道改善事業として、名取川左岸幹線・長町準幹線工事や、諏訪町ポンプ場建設工事等を実施しました。

財政状況につきましては、収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）において、総収益が344億1千5百万円に対し、総費用が331億7千万円で、差引12億4千5百万円の純利益となりました。

以上が令和2年度決算の概況でございますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、使用料収入が減少する中、今後とも市民の皆様へ安定的な下水道サービスを提供し続けていくため、「仙台市下水道マスタープラン」及び「仙台市下水道事業中期経営計画」に基づく施策を着実に実施し、効果的かつ効率的な事業経営により一層取り組んでまいります。

2 事業実績表

区分	年度	単位	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度比較	
					増減(A)-(B) (△減)	比率(A/B)
普及状況	(1) 行政区域面積	ha	78,635	78,635	0	100.0
	(2) 計画区域面積	ha	19,121	19,121	0	100.0
	(3) 処理区域面積	ha	17,543	17,537	6	100.0
	(4) 行政区域内人口	人	1,063,169	1,061,177	1,992	100.2
	(5) 処理区域内人口	人	1,060,175	1,058,061	2,114	100.2
	(6) 水洗化人口	人	1,056,814	1,055,071	1,743	100.2
	(7) 汚水処理（水洗化）戸数	戸	521,946	515,155	6,791	101.3
	(8) 人口普及率(5)／(4)×100	%	99.7	99.7	0.0	—
	(9) 水洗化率(6)／(5)×100	%	99.7	99.7	0.0	—
処理状況	(10) 年間総処理水量	千m ³	149,119	148,189	930	100.6
	(11) 年間汚水処理水量	千m ³	132,567	131,281	1,286	101.0
	(12) 年間雨水処理水量	千m ³	16,552	16,908	△ 356	97.9
	(13) 年間有収水量	千m ³	111,601	110,468	1,133	101.0
	(14) 一日平均処理水量	千m ³	409	405	4	101.0
施設状況	(15) 一日最大処理能力（汚水）	千m ³	443	447	△ 4	99.1
	(16) 下水管敷設延長	km	4,963	4,921	42	100.9
	(17) 処理場数	箇所	21	21	0	100.0
	(18) ポンプ場数	箇所	50	50	0	100.0
	(19) 浄化槽数	基	1,532	1,504	28	101.9
(20) 職員数	人	211	210	1	100.5	

3 予算決算比較表

(1) 収益的収支

(単位 千円)

区 分	令和2年度予算額					令和2年度 決算額(B)	翌年度 繰越額 (C)	増 減 (B)+(C)-(A) (△減)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	繰越額	合計(A)			
下水道事業収益	37,555,072	△ 2,144,100	0	0	35,410,972	35,922,137	55,705	566,870
営業収益	25,036,090	△ 1,987,100	0	0	23,048,990	22,998,450	0 △	50,540
下水道使用料	18,145,700	△ 1,726,100	0	0	16,419,600	16,534,600	0	115,000
他会計負担金	6,890,390	△ 261,000	0	0	6,629,390	6,463,850	0 △	165,540
営業外収益	11,824,406	△ 110,000	0	0	11,714,406	11,924,343	0	209,937
受取利息及び配当金	2,000	0	0	0	2,000	2,720	0	720
他会計補助金	282,195	0	0	0	282,195	264,132	0 △	18,063
国庫補助金	882	0	0	0	882	381	0 △	501
長期前受金戻入	11,449,316	△ 110,000	0	0	11,339,316	11,562,866	0	223,550
その他営業外収益	90,013	0	0	0	90,013	94,005	0	3,992
引当金戻入	0	0	0	0	0	239	0	239
特別利益	694,576	△ 47,000	0	0	647,576	999,344	55,705	407,473
過年度損益修正益	736	0	0	0	736	48,135	0	47,399
その他特別利益	693,840	△ 47,000	0	0	646,840	951,209	55,705	360,074
下水道事業費用	35,074,831	△ 1,232,996	0	225,381	34,067,216	34,084,632	55,705	73,121
営業費用	30,563,812	△ 590,092	△ 148,555	0	29,825,165	29,495,229	0 △	329,936
人件費	1,451,168	22,000	0	0	1,473,168	1,400,724	0 △	72,444
経費	8,075,388	△ 119,800	△ 171,555	0	7,784,033	7,528,397	0 △	255,636
減価償却費等	21,037,256	△ 492,292	23,000	0	20,567,964	20,566,108	0 △	1,856
営業外費用	3,483,667	△ 594,904	148,555	0	3,037,318	3,018,326	0 △	18,992
支払利息及び諸費	3,046,995	△ 340,000	0	0	2,706,995	2,688,003	0 △	18,992
消費税及び地方消費税	436,672	△ 254,904	148,555	0	330,323	330,323	0	0
特別損失	977,352	△ 48,000	0	225,381	1,154,733	1,571,077	55,705	472,049
災害による損失	917,084	△ 48,000	0	225,381	1,094,465	1,513,506	55,705	474,746
過年度損益修正損	60,268	0	0	0	60,268	57,571	0 △	2,697
予備費	50,000	0	0	0	50,000	0	0 △	50,000
当年度純損益 (税込み)	2,480,241	△ 911,104	—	△ 225,381	1,343,756	1,837,505	0	493,749
当年度純損益 (税抜き)	1,902,753	△ 1,015,008	—	△ 204,892	682,853	1,245,422	0	562,569
繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	9,045	—	—	—	9,045	9,045	—	0
その他未処分利益剰余金 変動額	0	2,870,535	—	—	2,870,535	2,870,535	—	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	1,911,798	1,855,527	—	△ 204,892	3,562,433	4,125,002	0	562,569

(注) 上記の予算・決算額については消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

※ その他未処分利益剰余金変動額は、減債積立金の使用によって発生する未処分利益剰余金の額である。

※ 災害による損失は、地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書の規定による超過支出である。

区 分	令和2年度 補正後予算額 (A')	令和2年度 決算額 (B')	翌年度 繰越額 (C')	増減(△減) (B')+(C')-(A')
令和2年度補正後予算額 に令和元年度からの繰越 額に係る損益を加味した 当年度純損益等				
当年度純損益(税込み)	1,559,188	1,837,505		278,317
当年度純損益(税抜き)	878,700	1,245,422		366,722
繰越利益剰余金(△繰越欠損金)	9,045	9,045		0
その他未処分利益剰余金変動額	2,870,535	2,870,535		0
未処分利益剰余金(△未処理欠損金)	3,758,280	4,125,002		366,722

(2) 資本的収支

(単位 千円)

区 分	令和2年度予算額				令和2年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増 減 (B)+(C)-(A) (△減)
	当初予算額	補正予算額	繰越額	合計 (A)			
資本的収入	19,929,278	△ 223,080	9,283,614	28,989,812	17,476,173	10,284,896	△ 1,228,743
企業債	15,426,100	△ 302,000	5,323,900	20,448,000	13,094,000	6,310,400	△ 1,043,600
国庫支出金	3,453,520	189,113	3,690,514	7,333,147	3,334,121	3,974,496	△ 24,530
固定資産売却代金	1,477	△ 1,477	0	0	0	0	0
他会計負担金	14,022	△ 6,102	269,200	277,120	245,249	0	△ 31,871
他会計出資金	666,138	△ 656	0	665,482	665,482	0	0
負担金	6,157	0	0	6,157	6,096	0	△ 61
その他資本的収入	361,864	△ 101,958	0	259,906	131,225	0	△ 128,681
資本的支出	33,387,412	△ 302,332	9,795,829	42,880,909	30,886,057	10,740,642	△ 1,254,210
建設改良費	13,651,891	△ 223,632	9,795,829	23,224,088	11,250,307	10,740,642	△ 1,233,139
企業債償還金	19,711,264	△ 78,700	0	19,632,564	19,632,493	0	△ 71
その他資本的支出	24,257	0	0	24,257	3,257	0	△ 21,000
差 引 額	△ 13,458,134	79,252	△ 512,215	△ 13,891,097	△ 13,409,884	△ 455,746	25,467

補てん財源	19,969,470	△ 1,263,788	512,215	19,217,897	19,105,746	455,746	343,595
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	577,488	103,000	498,863	1,179,351	592,083	455,746	△ 131,522
損益勘定留保資金	9,863,761	△ 351,780	13,352	9,525,333	9,633,728	0	108,395
減債積立金	0	2,870,535	0	2,870,535	2,870,535	0	0
当年度純損益	1,893,708	△ 1,015,008	0	878,700	1,245,422	0	366,722
前年度繰越額	7,634,513	△ 2,870,535	0	4,763,978	4,763,978	0	0
当年度末資金剰余額	6,511,336	△ 1,184,536	0	5,326,800	5,695,862	0	369,062

(注) 上記の予算・決算額については消費税及び地方消費税込みの額である。

○資金不足比率

(単位 千円, %)

資金不足額 (a)	事業規模 (b)	資金不足 比率 (a)/(b)
0	21,496,546	—

○未処分利益剰余金の処分(案)について

未処分利益剰余金4,125,002千円のうち、2,870,535千円を
資本金に組み入れ、1,254,467千円を減債積立金に積み立て
る。

※事業規模＝営業収益－受託工事収益(消費税及び地方消費税抜き)

4 決算雨水汚水内訳表

(単位 千円)

区 分	令和2年度 決 算 額	雨水分	汚水分（雨水以外）
下水道事業収益	34,415,324	11,178,071	23,237,253
営業収益	21,496,546	5,737,125	15,759,421
下水道使用料	15,032,696	0	15,032,696
他会計負担金	6,463,850	5,737,125	726,725
営業外収益	11,919,436	5,243,557	6,675,879
受取利息及び配当金	2,720	0	2,720
他会計補助金	264,132	0	264,132
国庫補助金	381	0	381
長期前受金戻入	11,562,866	5,243,557	6,319,309
その他営業外収益	89,098	0	89,098
引当金戻入	239	0	239
特別利益	999,342	197,389	801,953
過年度損益修正益	48,133	0	48,133
その他特別利益	951,209	197,389	753,820
下水道事業費用	33,169,902	11,178,071	21,991,831
営業費用	28,813,338	9,735,300	19,078,038
人件費	1,398,963	447,209	951,754
経費	6,848,995	772,852	6,076,143
減価償却費等	20,565,380	8,515,239	12,050,141
営業外費用	2,830,229	1,246,867	1,583,362
支払利息及び諸費	2,688,003	1,169,225	1,518,778
雑支出	142,226	77,642	64,584
特別損失	1,526,335	195,904	1,330,431
災害による損失	1,472,579	195,904	1,276,675
過年度損益修正損	53,756	0	53,756
当年度純損益	1,245,422	0	1,245,422

※上記決算額は消費税及び地方消費税抜きの額である。

5 建設改良事業の概要

(単位：千円)

	区 分	事業費	主たる事業
公 共 下 水 道 事 業	管 ぎ よ 建 設 費	7,347,840	災害復旧工事 86,820 ・歩坂町地区下水管災害復旧工事 等 污水管きよ建設 1,142,448 ・名取川左岸幹線・長町準幹線工事 等 雨水管きよ建設 1,406,773 ・地蔵前雨水幹線工事 等 管きよ改築更新・改良 2,458,510 ・小田原五丁目地区老朽管改築工事 等 地震対策 2,082,913 ・第3南蒲生幹線工事 等 事務費 等 170,376
	ポ ン プ 場 建 設 費	1,598,050	災害復旧工事 119,522 ・郡山ポンプ場機械設備応急復旧工事 等 污水ポンプ場建設 335,453 ・諏訪町ポンプ場建設工事 等 雨水ポンプ場建設 342,588 ・名取川四郎丸雨水ポンプ場排水樋門工事委託 等 ポンプ場等改築更新・改良 772,637 ・郡山ポンプ場監視制御設備等改築工事 等 地震対策 12,650 ・北中山一丁目ポンプ場耐震補強詳細設計業務委託 等 事務費 等 15,200
	処 理 場 建 設 費	1,106,245	災害復旧工事 5,452 ・上谷刈浄化センター災害復旧工事 等 污水処理場建設 34,320 ・南蒲生浄化センター汚泥処理施設基本設計業務委託 処理場改築更新 1,029,605 ・南蒲生浄化センター汚泥処理監視制御設備改築工事 等 地震対策 26,513 ・広瀬川浄化センター汚泥棟外耐震診断調査業務委託 等 事務費 等 10,355
排 水 事 業	農 業 集 落 排 水 施 設 建 設 費	33,435	農業集落排水施設最適整備構想策定業務委託 等 33,435
事 業	浄 化 槽 建 設 費	69,660	新設工事 等 69,660
道 事 業	地 域 下 水 道 建 設 費	812	設備更新工事 等 812
そ の 他	建 設 諸 費 等	1,094,265	人件費 705,223 事務費 等 389,042
	計	11,250,307	

注：消費税及び地方消費税込みの額である。